

平成30年8月10日
大洲河川国道事務所

平成30年7月豪雨対応

肱川（国管理区間）浸水エリア図の公表
～平成30年7月豪雨による浸水範囲調査を実施しました～

平成30年7月豪雨による肱川（国管理区間）の浸水範囲について調査を実施しました。

「浸水エリア図」及び「浸水想定区域図との比較図」は、大洲市が実施している被災状況の確認作業等に活用ができます。

今回の調査により、これまでの過去最高水位で大きな被害となった平成16年の台風16号による浸水範囲と比べ約1.6倍の範囲で浸水被害が発生しており、「計画規模の浸水想定区域図」との比較図では、一部の地域を除き浸水範囲が概ね一致していることが確認されました。

○平成16年台風16号との浸水面積比較

浸水面積	平成30年7月豪雨	平成16年台風16号
全体	約887ha	約564ha

主な地区	平成30年7月豪雨	平成16年台風16号
東大洲地区	約462ha	約230ha
春賀地区	約83ha	約60ha
八多喜地区	約66ha	約40ha

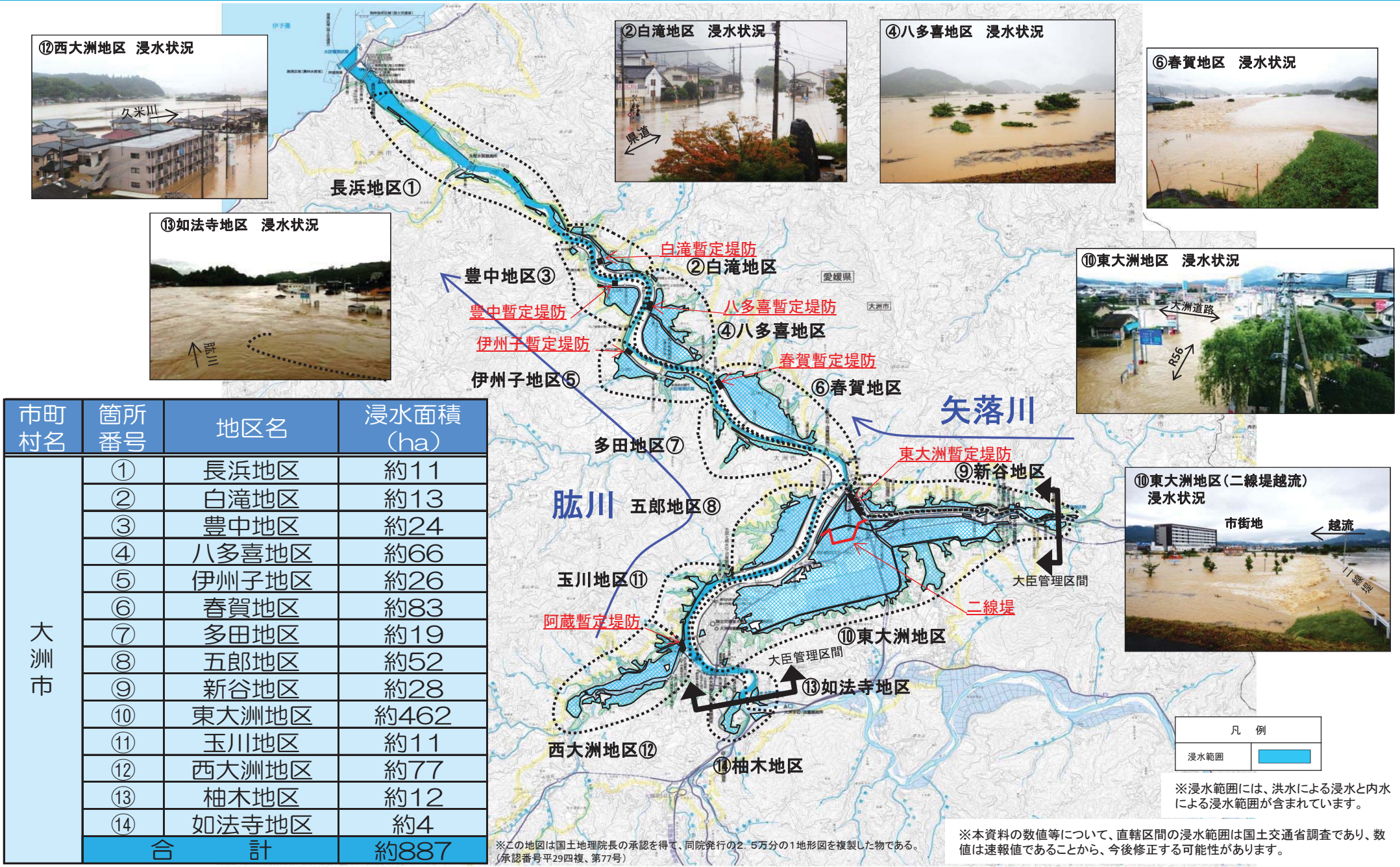
本施策は、四国圏広域地方計画「NO.1 南海トラフ地震を初めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」の取り組みに該当します。

《問い合わせ先》 国土交通省 四国地方整備局

全般	大洲河川国道事務所	Tel: 0893-24-5185(代)
	副所長 阿部 勝義（アベ カツヨシ）（内 204）	
	◎事業対策官 原田 隆史（ハラダ タカシ）（内 208）	

◎主たる問い合わせ先

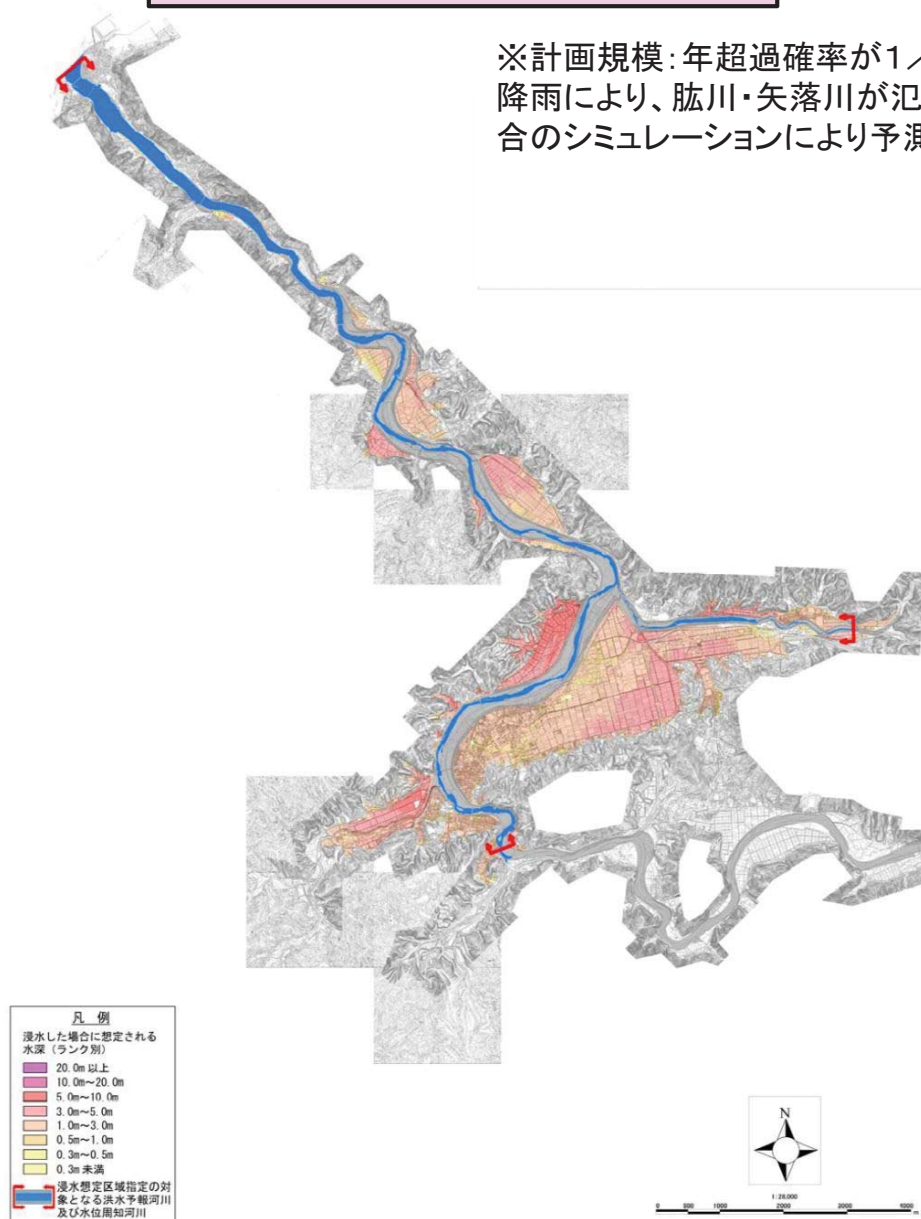
肱川の国管理区間の浸水エリア図



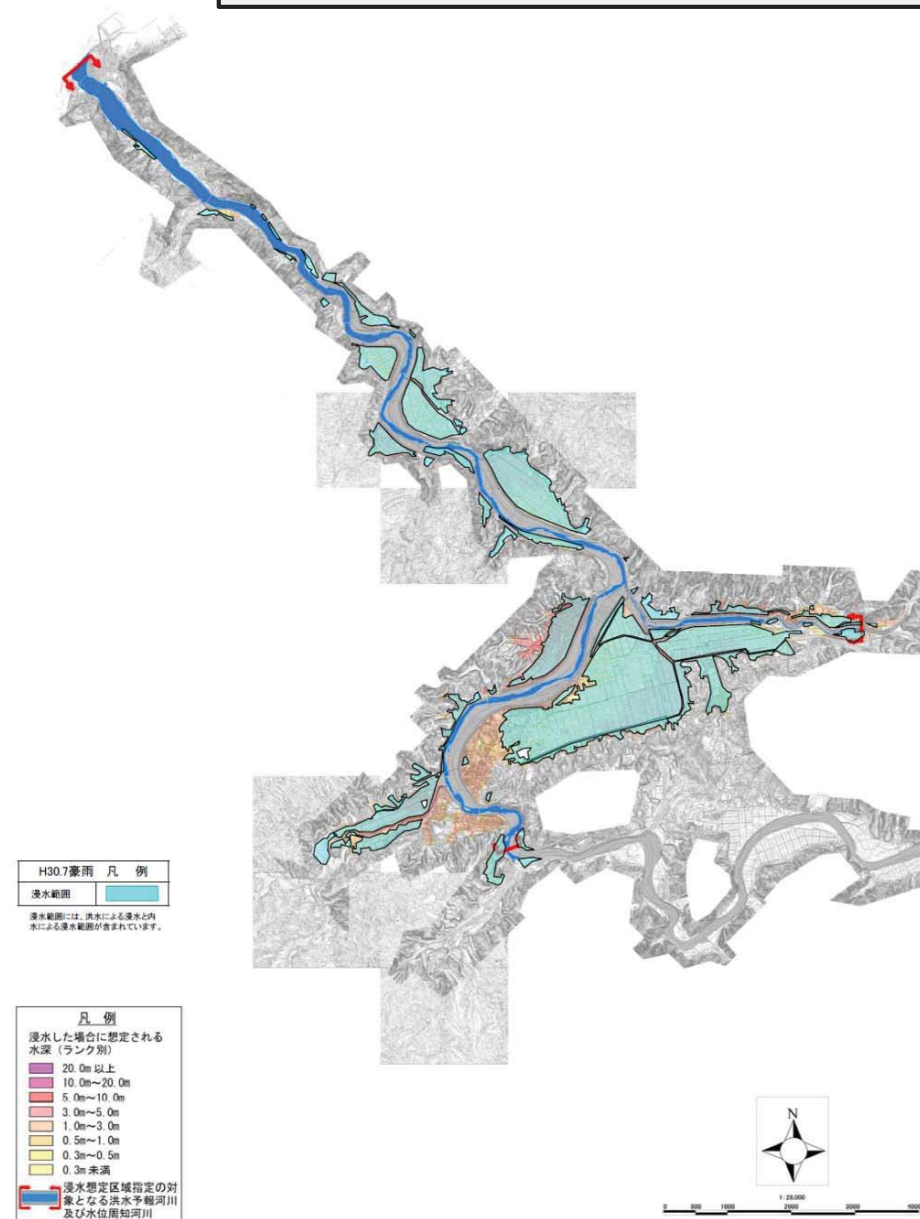
浸水想定区域図との比較図(計画規模浸水想定区域図)

計画規模浸水想定区域図

※計画規模:年超過確率が1/100の降雨により、肱川・矢落川が氾濫した場合のシミュレーションにより予測



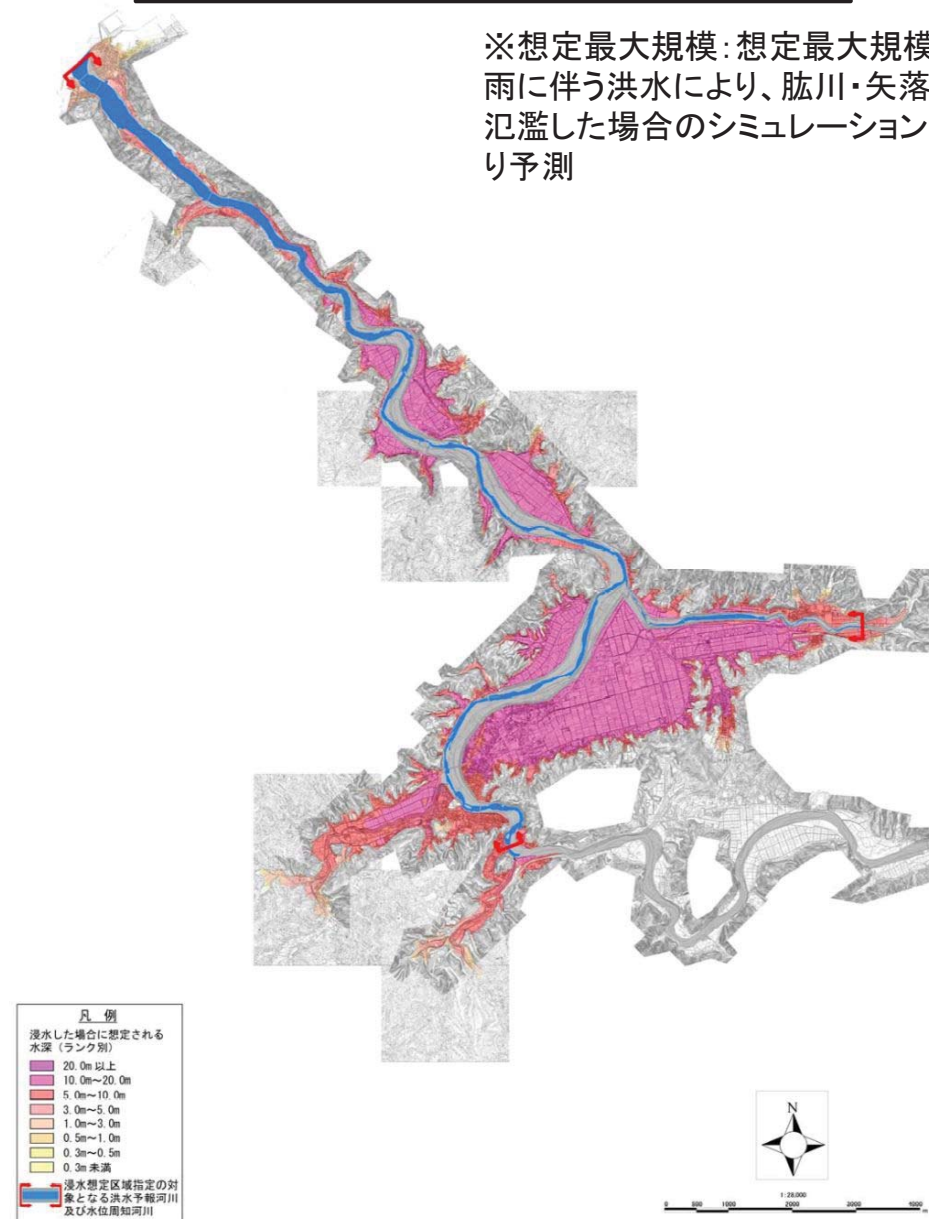
平成30年7月浸水範囲との重ね図



浸水想定区域図との比較図(想定最大規模浸水想定区域図)

想定最大規模浸水想定区域図

※想定最大規模: 想定最大規模降雨に伴う洪水により、肱川・矢落川が氾濫した場合のシミュレーションにより予測



平成30年7月浸水範囲との重ね図

